

# 第81回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナー(高知)

四国本部 高知県支部  
事務局長 松本 洋一  
MATSUMOTO Yoichi



## 1. はじめに

令和4年11月18日に「第81回CPDセミナー・公開講座・防災セミナー」を高知共済会館で開催いたしました。参加者数は、セミナー・講座 54名（うちWEB参加4名）、懇親会は高知会館に会場を移し32名と盛会でした。

## 2. 開会

開会の挨拶は、大西誠一事業副委員長が行いました。四国本部の活動紹介として、下村昭司事業委員から、地域産官学と技術士との合同セミナー、西日本技術士研究・業績発表年次大会（in鳥取）の報告、横山倫理小委員長から、第48回技術士全国大会（奈良・関西）の報告がありました。青年技術士交流委員会の活動について中根副委員長から紹介がありました。



写真1 大西事業副委員長の開会挨拶



写真2 会場の様子

## 3. CPD セミナー

「技術士 衛生工学部門(廃棄物・資源循環)のご紹介と合格までの道のり」と題して筒井僚子氏（(株)四電技術コンサルタント 環境部 環境計画グループ）にご講演をいただきました。

筒井様は、出産・育児を経て2016年に技術士一次試験(環境)合格、2021年に技術士 衛生工学(廃棄物・資源循環)を取得されています。高知県支部には衛生工学部門の技術士が在籍していないため、災害廃棄物処理計画や施設保全計画などの実務について、興味深く聴講させていただきました。

また技術士二次試験筆記試験対策として合格に至る体験談もお話いただきました。自分にあった筆記道具を揃えること、白書・各種マニュアル・指針・関連省庁のHPの資料に目を通すこと、効果的な記述練習のポイントなど、若手技術者に向けてわかりやすくご説明いただきました。



写真3 筒井講師によるCPDセミナー

## 4. 公開講座

公開講座は、「ナス日本一(?)までの歴史と将来」と題して小松広幸氏（農業 野菜ソムリエ）にご講演いただきました。小松様は、砂防関連のエンジニアを経て、現在は家業である農業に従事されています。コンサルタントエンジニアの経

歴に加え、野菜ソムリエとしてナスの魅力を消費者に伝える消費宣伝も行われているとのことで、素晴らしいプレゼン資料と流暢な話術に引き込まれるような講演でした。

講演内容は、高知における園芸の歴史、ビニールハウス内部の変化、新品種「PC お竜」のことなど、「園芸王国」高知の知られざる一面を非常にわかりやすく説明していただきました。

近年の農業を取り巻く課題として、販売価格がコロナ禍や豊産のため下落傾向にあること、ウクライナ危機や円安で農業経費(肥料費や燃料代、資材代)は増大していること、人手不足などの悩みについてもお話いただきました。

「店頭に並ぶ高知野菜をみると、生産者だけでなく背後の風景までも思い浮かべてもらえるような野菜を皆さんに届けていきたい」との力強い言葉が印象に残りました。



写真 4 小松講師による公開講座

## 5. 防災セミナー

防災セミナーは、「津波と沿岸防災」と題して、佐藤慎司教授(高知工科大学 システム工学群)にご講演いただきました。

まず巨大津波の特性として、津(みなと、入り組んだ湾の奥)で大きな被害をもたらす波であるとの語源も含め、発生・伝搬のメカニズムについて、非常にわかりやすくご説明いただきました。

津波の高さと陸域での氾濫について、津波高さの定義や東日本大震災の津波痕跡調査の結果などについて解説していただきました。

これらの特性をふまえた沿岸防災について、粘り強い堤防で守られているから逃げる、津波を理解し「意識と備え」を地域の財産にしていくことの重要性をお話いただきました。



写真 5 佐藤講師による防災セミナー

## 6. 懇親会

河野一郎副本部長の挨拶・乾杯で懇親会を開宴しました。感染対策に配慮しつつ、講師も交えて交流の時間を楽しむことができました。



写真 6 河野副本部長による乾杯



写真 7 中根青年技術士交流副委員長による中締め

## 7. おわりに

今回は、初めての対面・WEB 併用形式でしたが無事開催することができました。また、講演内容の影響もあり、従来に比べて技術士補など若手技術者、特に女性技術者の参加が目立ったことは大変嬉しい限りです。今後も多様な参加者にとって有意義な交流の場になるよう工夫を凝らしていきます。開催にご協力いただいた関係者の皆様、後援いただいた(一社)建設コンサルタンツ協会に感謝申し上げます。 —以上—